

「藤沢の選択、1日討論」
参加者アンケート結果報告
(概要版)

藤沢市
慶應義塾大学DP研究会

1. 調査概要

- ◆ 単位の繰上げは、四捨五入によっています。単位の繰上げにより、内訳に数値の合計と、合計欄の数値が一致しないことがあります。
- ◆ 構成比(%)についても、単位の繰上げのため合計が100とならない場合があります。

1. 藤沢市民に対して、「藤沢のいま」、「藤沢のこれから」をテーマとする世論調査を行う(無作為抽出の3000人に対してアンケートを送送)



10年7月9日 発送

2. アンケートは、慶應義塾大学DP研究会が回収(回収数1062通)

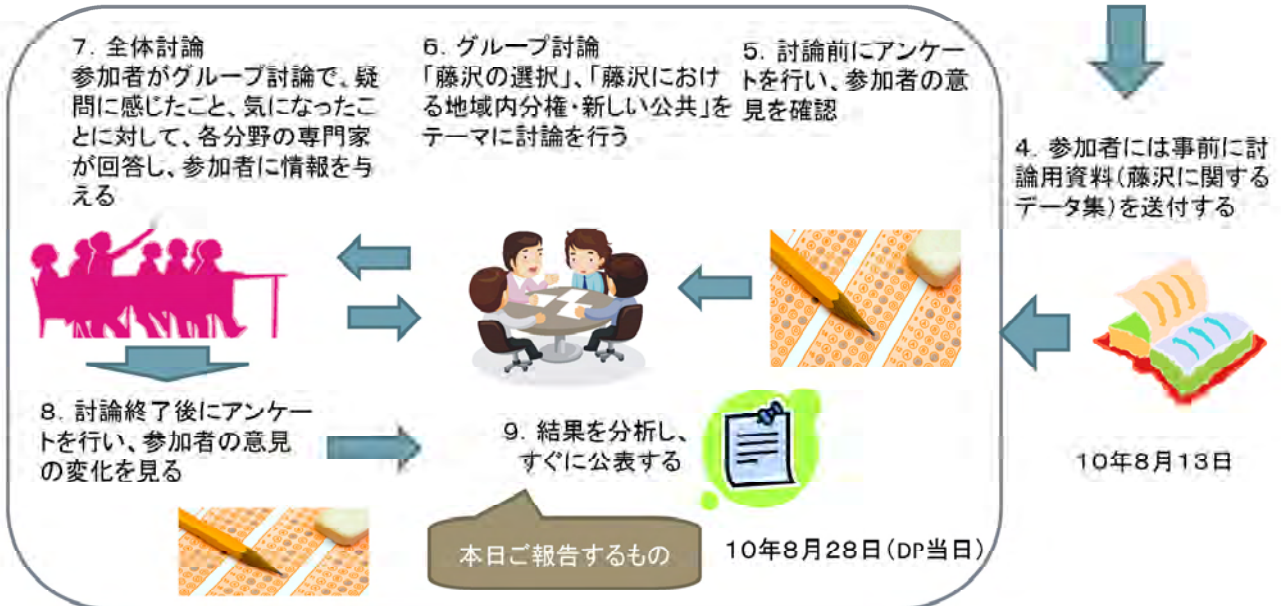


10年7月23日

3. アンケート回答者のなかから、「藤沢の選択、1日討論」の参加者を募る(参加者希望者数約200人)



10年7月23日～10年8月20日



「藤沢の選択、1日討論」(藤沢DP)概要

1 概要

- 主催 藤沢市
- 企画運営 慶應義塾大学DP研究会
- 日時 2010年(平成22年)8月28日(土)9時20分～17時30分
- 場所 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)
- 参加者 161名(男性84名、女性74名、不明3名)
- 討論テーマ
 - ・午前「藤沢の選択」
 - テーマ1「藤沢の高齢化と市民の選択」
 - テーマ2「藤沢の公共施設老朽化と市民の選択」
 - ・午後「藤沢における新しい公共と地域内分権」
 - テーマ1「藤沢における新しい公共」
 - テーマ2「藤沢における地域内分権」

2 調査テーマ

「藤沢の選択」と「地域内分権・新しい公共」に関するアンケート

3 調査対象者

20歳以上の藤沢市民から3,000人を無作為抽出し、世論調査に回答した市民のなかで調査への参加を希望した者

4 調査方法

① 討論前アンケート

グループ討論を行う前にアンケートを実施

アンケート内容は、市民の意見・態度を問うもの、事実問題など

② 討論後アンケート

グループ討論での意見交換、全体会議での専門家への質疑応答を経て、討論前アンケートに当日評価の項目を加えた内容で、再度アンケートを実施

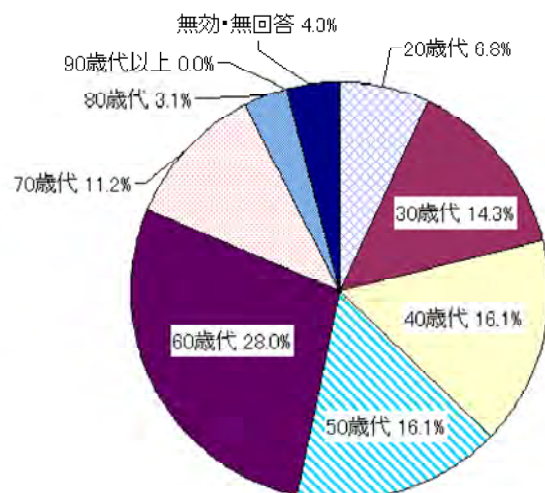
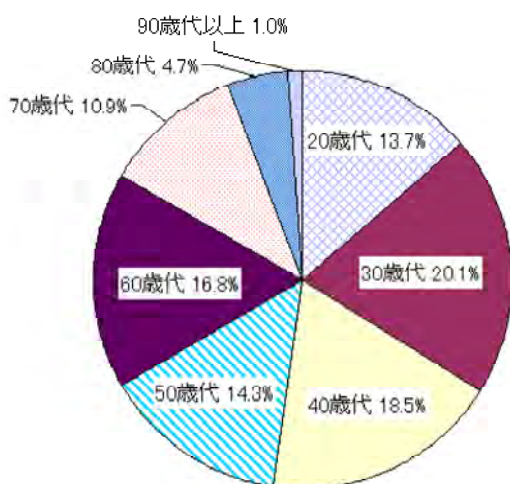
5 回収結果

討論前 161(回収率 100%)、討論後 161(回収率 100%)

「藤沢の選択、1日討論」参加者の年代別構成

世論調査のために抽出した対象者の構成
(2010年7月1日時点の住民基本台帳データより)

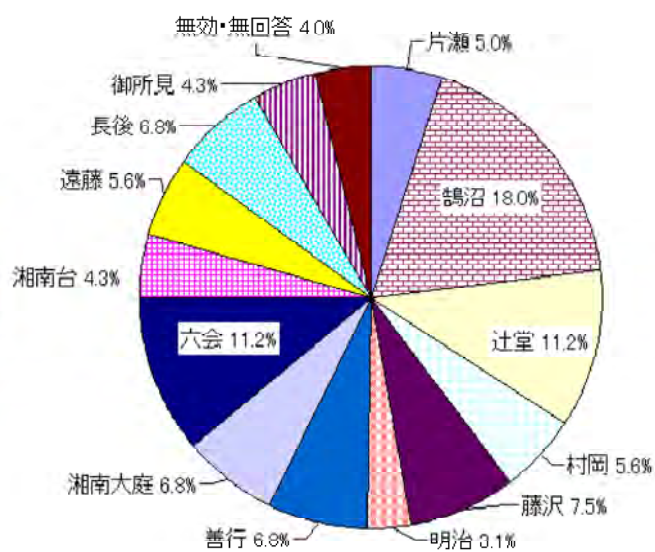
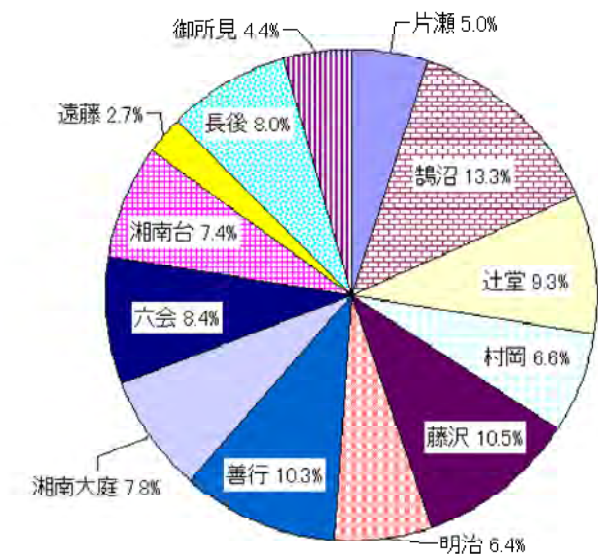
参加者の構成



「藤沢の選択、1日討論」参加者の居住地別構成

世論調査のために抽出した対象者の構成
(2010年7月1日時点の住民基本台帳データより)

参加者の構成

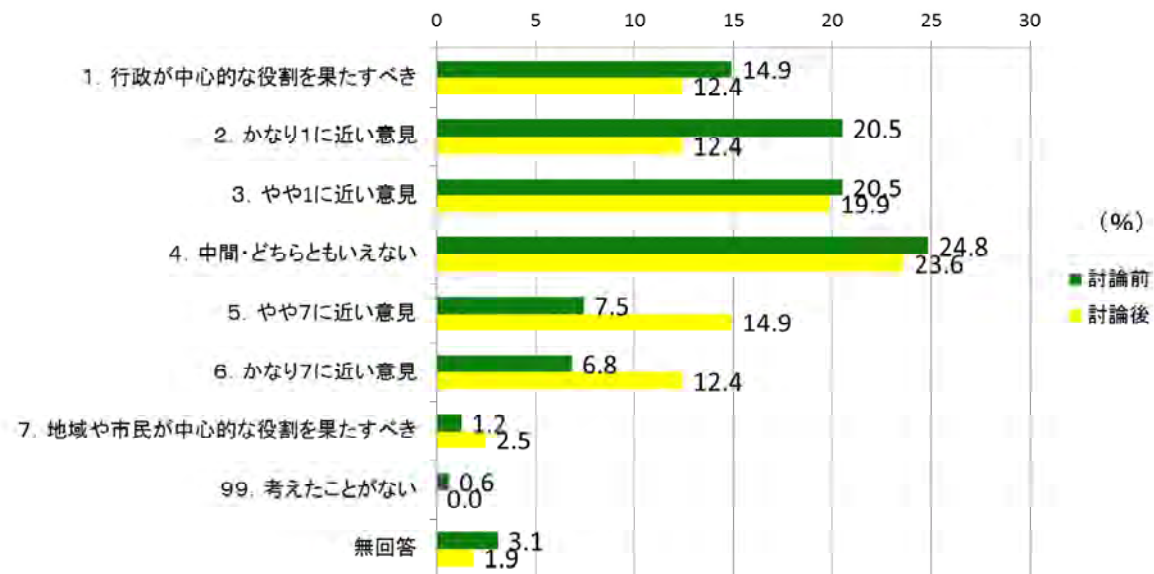


2. アンケート結果概要

アンケート結果①
藤沢市において、
今後とるべき対応について聞く設問

1-1. 一人暮らし高齢者の支援は誰が中心になって行うべきか

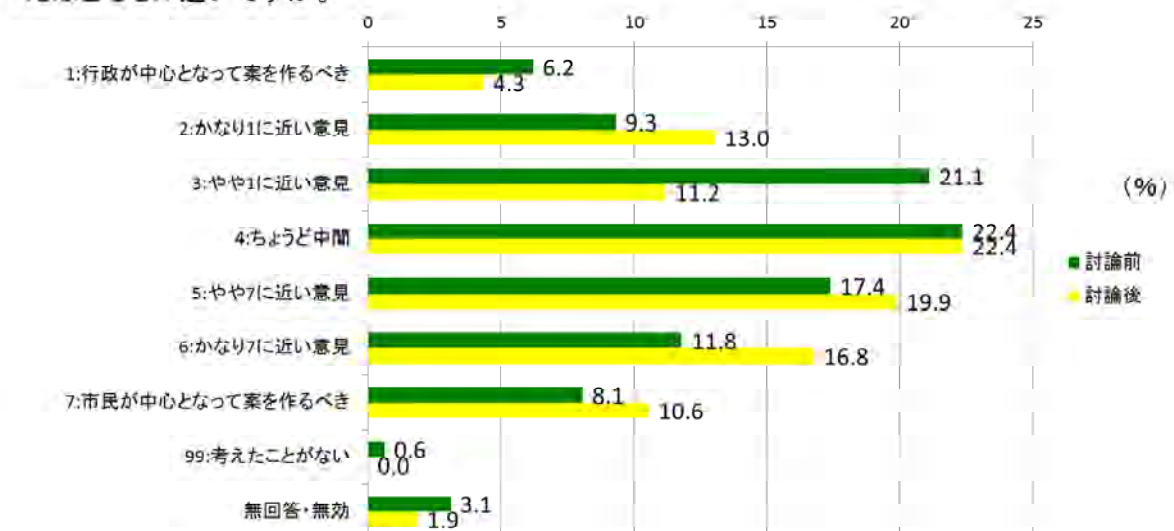
問 藤沢市において、何らかの支援が必要な、一人暮らしの高齢者が増加した場合、その支援をする中心的な役割は誰が担うべきだと思いますか。



- ・「行政が中心的な役割を果たすべき」という人が11.2ポイント減少(55.9%→44.7%)
- ・「地域や市民が中心的な役割を果たすべき」という人が14.3ポイント増加(15.5%→29.8%)

1-2. 公共施設の老朽化への対応方針は誰が中心になって議論すべきか

問 藤沢市では、今後、多くの公共施設が老朽化していきます。このような施設の廃止や存続、建て替えなどを決める際、「これまでの経験を活かして行政が中心となって案を作るべき」という意見と、「日常的に利用している市民が中心となって案をまとめるべき」という意見があります。あなたの考えはどちらに近いですか。



- ・「行政が中心となって案を作るべき」という人が8.1ポイント減少(36.6%→28.5%)
- ・「市民が中心となって案を作るべき」という人が10.0ポイント増加(37.3%→47.3%)

1-3. 藤沢市はどのような役割を担っていくべきか

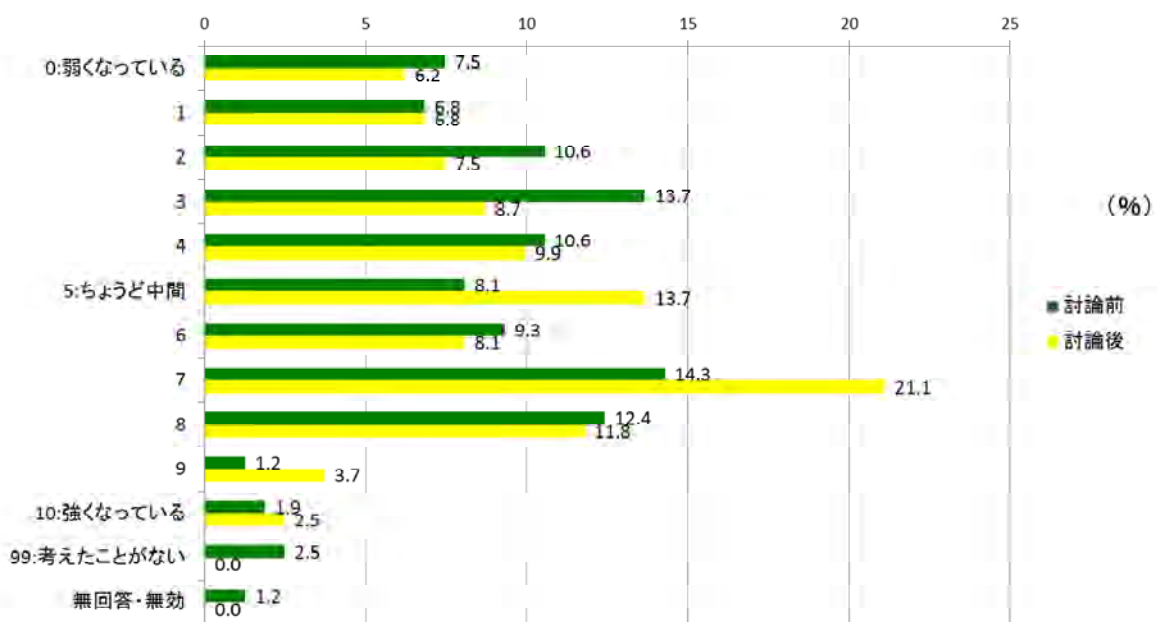
問 これから、藤沢市役所はどのような役割を担っていくべきだと思いますか。「市民の意向を聞いて、まんべんなくサービスを提供すべき」を「1」、「取捨選択を行い、機能を絞り込むべき」を「7」とした場合、あなたの考えはどこに位置しますか。



- ・「まんべんなくサービスを提供すべき」という人が11.8ポイント減少(30.4%→18.6%)
- ・「取捨選択を行い、機能を絞り込むべき」という人が13.1ポイント増加(50.9%→64.0%)

1-4. 20年後の藤沢市の「近隣の人たちが地域の問題を協力して解決する力」は、現在と比べて、どうなっていると思うか

問 20年後の藤沢市における「近隣の人たちが地域の問題を協力して解決する力」は、現在と比べて、どのように変化していると思いますか。

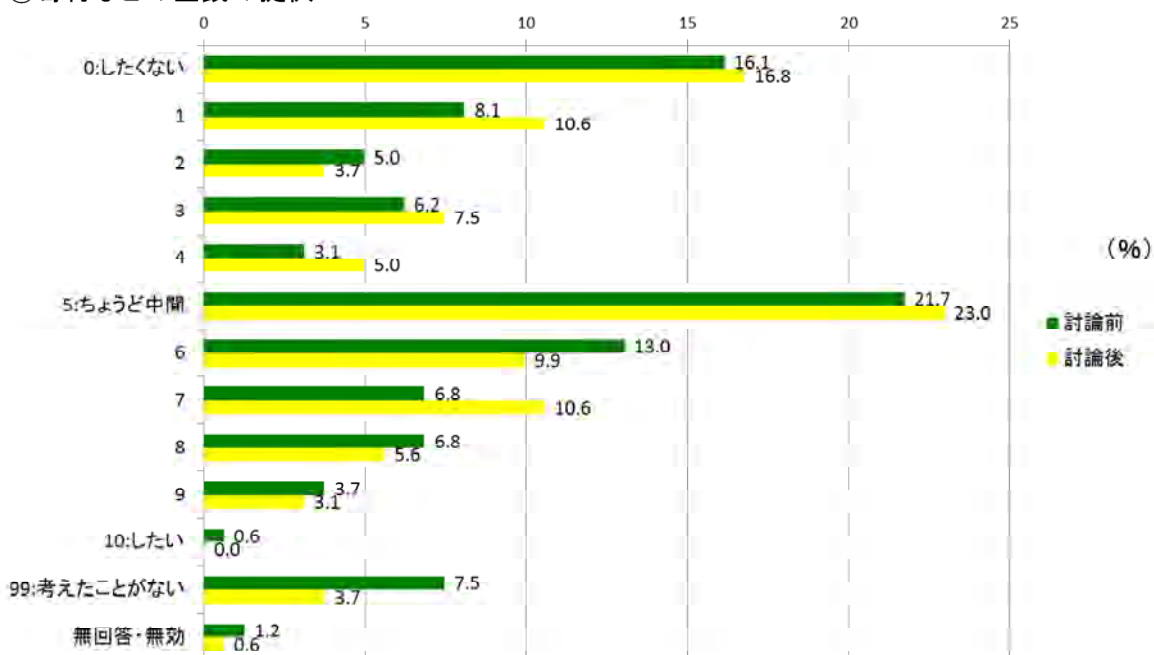


- ・「弱くなっている」という人が10.1ポイント減少(49.2%→39.1%)
- ・「強くなっている」という人が8.1ポイント増加(39.1%→47.2%)

1-5①. 地域の課題解決のために、どのような活動や負担をしてもよいと思うか

問 地域の課題の解決のために貢献できるとしたら、あなた自身は、どのような活動や負担をしてもよいと思いますか。

① 寄付などの金銭の提供

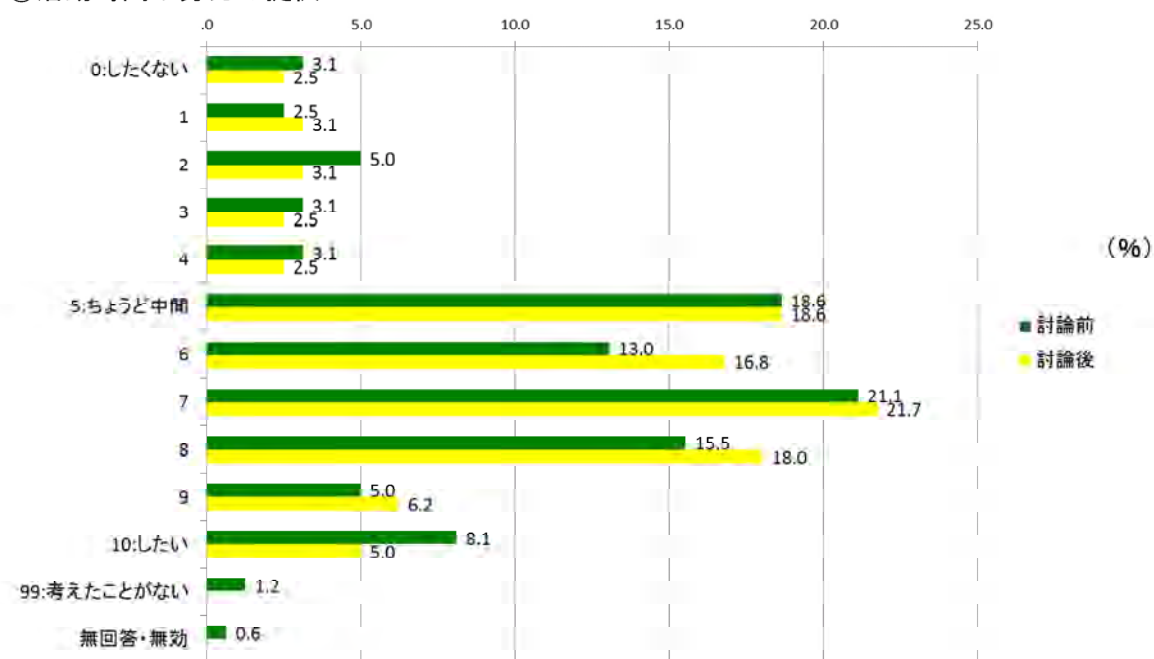


・「寄付したくない」という人が5.1ポイント増加(38.5%→43.6%)
 ・「寄付したい」という人が1.7ポイント減少(30.9%→29.2%)

1-5②. 地域の課題解決のために、どのような活動や負担をしてもよいと思うか

問 地域の課題の解決のために貢献できるとしたら、あなた自身は、どのような活動や負担をしてもよいと思いますか。

② 活動時間や労力の提供

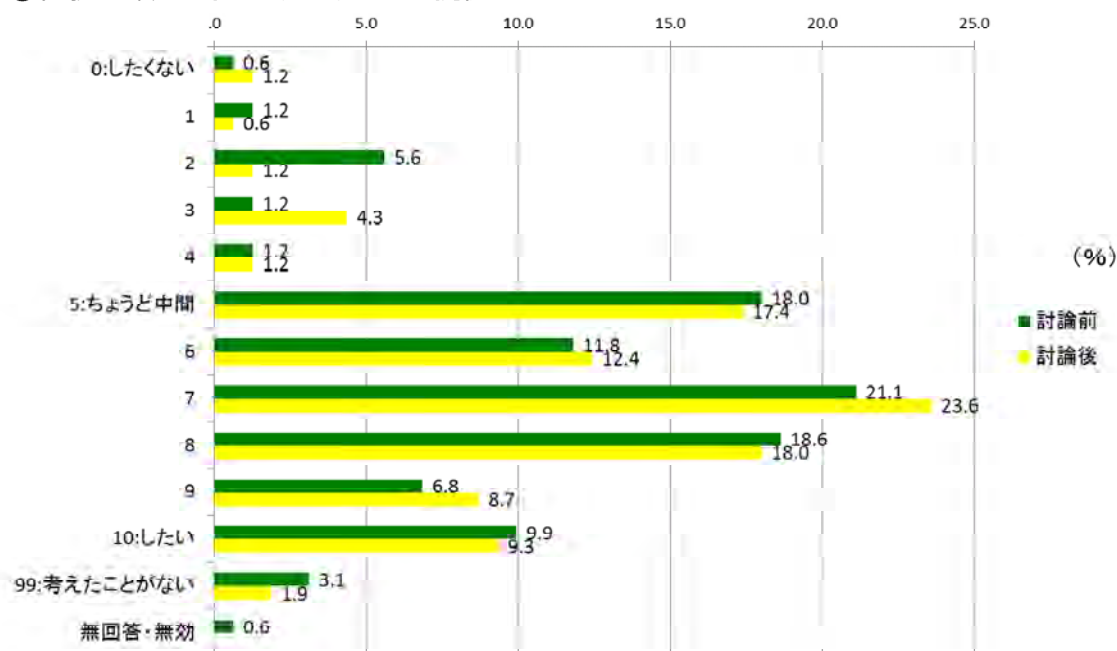


・「活動時間や労力を提供したくない」という人が3.1ポイント減少(16.8%→13.7%)
 ・「活動時間や労力を提供したい」という人が5.0ポイント増加(62.7%→67.7%)

1-5③. 地域の課題解決のために、どのような活動や負担をしてもよいと思うか

問 地域の課題の解決のために貢献できるとしたら、あなた自身は、どのような活動や負担をしてもよいと思いますか。

③ 経験・知識・人脈・ノウハウなどの提供

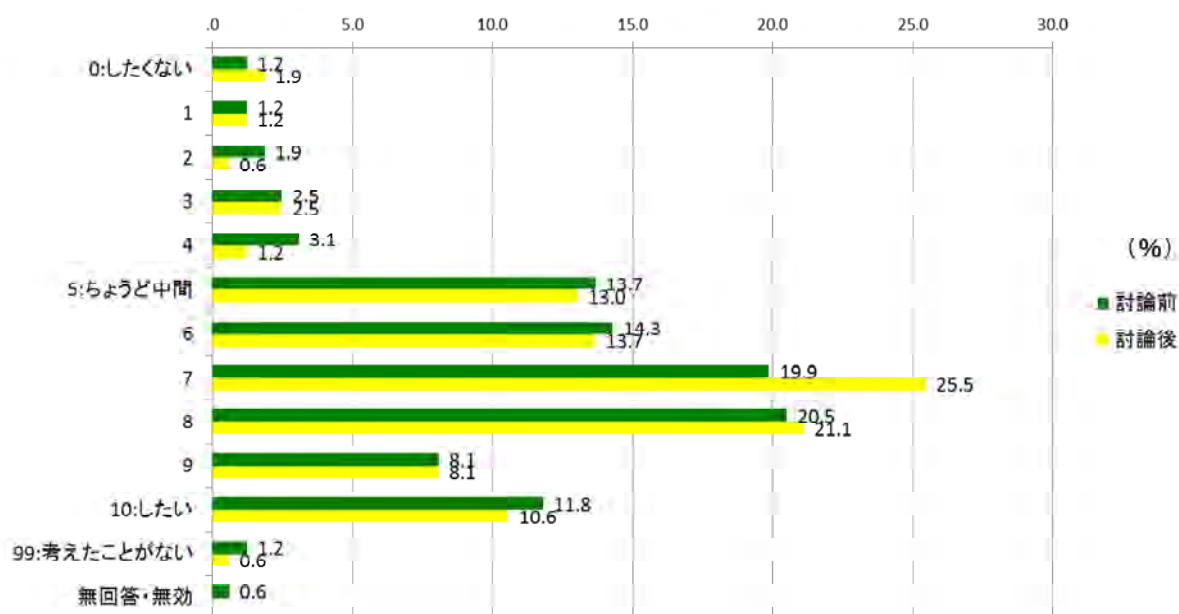


・「経験・知識・人脈・ノウハウなどは提供したくない」という人が1.3ポイント減少(9.8%→8.5%)
 ・「経験・知識・人脈・ノウハウなど提供したい」という人が3.8ポイント増加(68.2%→72.0%)

1-5④. 地域の課題解決のために、どのような活動や負担をしてもよいと思う

問 地域の課題の解決のために貢献できるとしたら、あなた自身は、どのような活動や負担をしてもよいと思いますか。

④ 地域の人々との付き合い・連携などへの参加

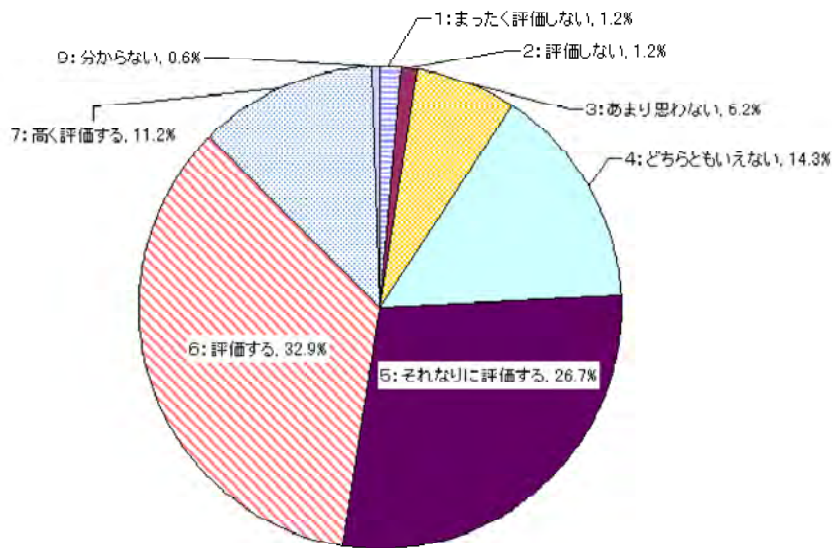


・「地域の人々との付き合い・連携などへの参加はしたくない」という人が2.5ポイント減少(9.9%→7.4%)
 ・「地域の人々との付き合い・連携などへの参加したい」という人が4.4ポイント増加(74.6%→79.0%)

アンケート結果②
「藤沢の選択、1日討論」に関する設問

2-1. 「藤沢の選択、1日討論」を総合計画策定に活用することについて

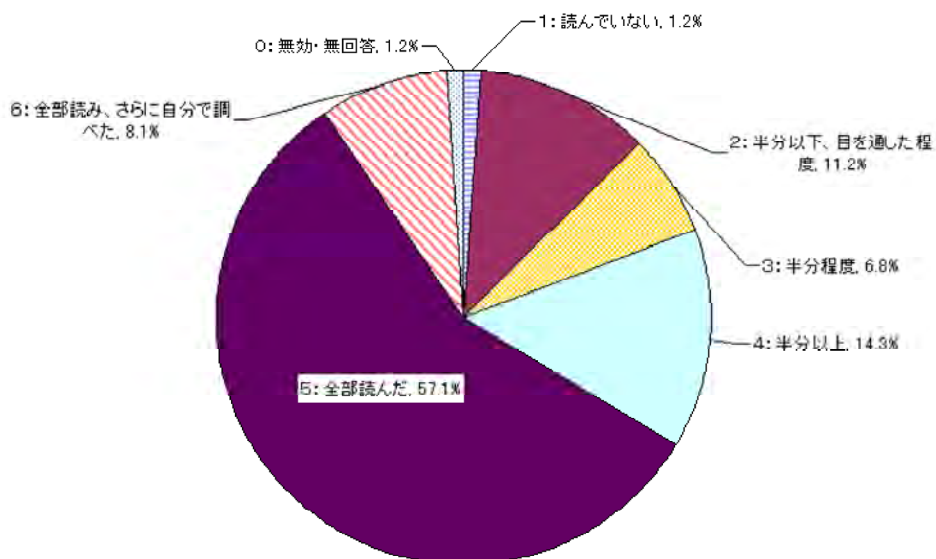
問 本日の討論で出てきた意見が、市の総合計画策定に際して、活用することについて、どのように思いますか。



71%の人が、討論で出てきた意見を総合計画策定に活用することを評価すると回答

2-2. 「藤沢の選択、1日討論」の事前送付資料について

問 本日の討論に参加するまでに、郵送で受け取った資料をお読みにになりましたか



事前送付資料を全て読んだという人が57%

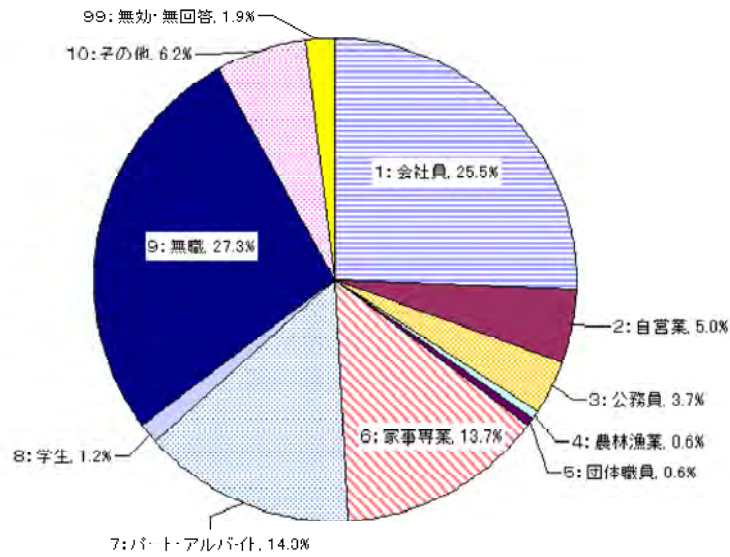
アンケート結果③
参加者自身に関する設問

3-1. 仕事について

問 あなたの現在の主なお仕事は、次のどれにあたりますか。

【選択肢】

1. 会社員 2. 自営業 3. 公務員 4. 団体職員 5. 農林漁業 6. 家事専業 7. パート、アルバイト 8. 学生
9. 無職 10. その他



3-2. 通勤(通学)地域について

問 あなたは主にどこの地域で仕事(学業含む)をしていますか

【選択肢】

1. 藤沢市内 2. 神奈川県他市町村 3. 東京都内 4. その他

